

市町村指定文化財取材票 《表》

取材日	2024年	9月	18日	(記入者) 垣内博久	
取材参加者	石井	岡本	垣内	久門	小西
	島田	鶴田			
取材対象先	天理市：善福寺の木造阿弥陀如来坐像				

所在地	天理市和邇町1217				
所有者(取材 対応者)名	善福寺 川野真広副住職 (個人 情報守秘)		連絡先	0743-65-5211	
			PCアドレス		
取材申込	申込先・行政名など：善福寺				
市町村 指定文化財	彫刻	1躯	木造阿弥陀如来坐像 2023(令和5)年10月25日指定		
	建造物	棟			
文化財指定理由	平安時代後期(12世紀ごろ)の都ぶりの本格的像で、主要部はよく当初の姿を残している。				

文化財の状況

	設備・対策・点検・通知方法など	記入者の感想
防火対策	安置されている本堂は平成29年に建築されたもので火災報知器が設備されている。住職、副住職家族は本堂横に住まわれている。	特になし。
	被害の有無、対策など	記入者の感想
獣害対策	近隣ではタヌキやアライグマの被害があるが本堂は新しく侵入が出来ないため被害はない。	特になし。
保存～継承 へ 苦勞と 今後の課題 と対策	重要文化財の本尊や取材対象の阿弥陀如来坐像のほか多くの仏像が安置されており維持管理は重責だが、本堂も新しく像の傷みも少なく当面は問題ないと思われる。	

取材を終えて感じた文化財保護状況と今後の課題(修復、維持、管理、環境など)

副住職が精力的に色々な活動をされており、毎年7月7日には境内に祀る弁財天のお祭りが開催され、二胡の演奏会が行われる。有名寺院ではないが非常に元気な寺院だと感じた。副住職の計らいで取材の仏像に全員で読経をおこなった。その後、副住職が出場されたH-1グランプリ(僧侶による法話大会)や取り組まれているヨガや二胡のイベントの話をお話聞いた。

市町村指定文化財取材票《裏》

取材日	2024年	9月	18日	(記入者) 垣内博久	
取材参加者	石井	岡本	垣内	久門	小西
	島田	鶴田			
取材対象先	天理市：善福寺の木造阿弥陀如来坐像				

〈写真撮影許可済み〉

文化財指定名 木造阿弥陀如来坐像

文化財（正面写真）	文化財（もう一躯の指定像との2ショット）
 <p>破損がある膝部分</p>	 <p>善福寺</p>
 <p>文化財の由緒などを記入</p> <p>像高96cmの針葉樹材の一木割矧造（いちぼくわりはぎつくり）で12世紀の作。後世の補修で膝の前部分の形態が変化している。唇の朱が鮮やかに残っており、他にも修復がされたと思われるが詳細は不明である。本像は別の市指定阿弥陀如来坐像と共に付近にあった願興寺、常楽寺、谷脇寺のいずれかから持ち込まれた客仏と思われる。</p>	 <p>所有社寺や地域（廃寺等）の歴史や特徴を記入</p> <p>和爾町は和爾氏発祥の地で、近くにある和爾氏の氏神・和爾大明神を祀る和爾坐赤阪比古神社にはもともと常楽寺があった。副住職の話では檀家は80軒ほどで少ないが、土地柄結束力が強い地域だそうだ。</p>